

初めてのボランティア・ニュースレター発送作業

会社員 宮川 和夫

今回、生まれて初めてボランティア活動に参加しました。

先ず、アジア文化会館の会場に入った時、若い女性ばかりが目に入って、いい年のおじさんが場違いなところに来てしまったなあ、と感じました。高校生、大学生が多くて、社会人になった自分の子供より若くて、まいったな、と思いました。

それから、早速作業に入りましたが、自分の作業のスピードはどう頑張ってもスローで、周りの方についていけず、シンドイ思いをしましたが、そうこうしている内にマイペースでできる作業が殆どとなり、何とか作業を終えることができました。自分なりに頑張ったせいか、達成感がありました。また、基金の方も皆親切で、うまく一体感を醸成していたように思います。

今回のボランティア参加の教訓です。

- 1 年長者でも受け入れてくれ、慣れてくれば何とかなあって、皆さんと一体になれる
- 2 普段の仕事の上下関係ばかりが、人間の関係ではなくて、水平関係も悪くない
- 3 肉体的、反射神経の衰えは如実にでてしまう
- 4 ボランティア参加の若者は皆元気で、真面目で素晴らしい

ボランティア活動は初めてでしたが、新たな新鮮な体験が得られました。また、もう少し支援資金があれば、活動もより活性化するかと思います。支援者の方への押し付けとはならないように配慮しながら、「現地の方の生の声」のフィードバックがより聞こえる方が良いように感じました。やはり、支援者の方は、支援先の方がどういう気持ちで受け取っているかが一番知りたいように感じます。

以上、初めての方でも大丈夫だと思うので、このボランティアは年長者にもお薦めです。

